

三ツ星サーフ C・C の変遷

2018年12月吉日

三ツ星サーフ C・C

会長：薬師寺 定生

1. クラブ名の由来

私達のクラブは三ツ星ベルト（株）の企業内クラブに端を発した。

1968年発足当時は Mitsuboshi Belting の頭文字を取り「M・Bサーフ」でスタートしました。

1972年社会的にも分かり易い社名を取って「三ツ星サーフ C・C」へ改名し今日に至っています。

2. クラブの歴史

発足前は企業内釣り同好会があり釣りの内容は池でフナ釣、川でハエ釣り、海でメバル釣りを中心に飯塚元雄会長のもとで楽しんでいた釣り同好会があった。

一方、会社の男子寮(200名収容の青雲寮)で私(薬師寺)は昭和41年頃から寮生の釣り同好会を作り投げ釣りを始めていた。

その頃近くにあった「紀州屋釣具店」で 2.4mの六角竹3本継ぎ竿3,500円、スピニングリールが3,000円(現在ではセットで1,500円程度の物?)当時の給料が残業して12,000円位だったから相当高い物でした。

こんな二つの同好会が全日本キャスティング連盟加入を目的に飯塚氏の誘いで合流、1968年MBサーフとして全日本キャスティング連盟兵庫協会に加入。

投げ釣りの道具の発達が目まぐるしい進歩を遂げ釣りも幅が増しクラブの方々とも各大会に参加しカレイ、アイナメ、キスを主体に楽しんでアツと言う間に10年が過ぎ、昭和58年、神戸中央サーフ(松永繁美会長)、尼崎中央サーフ(茶谷茂生会長)と三ツ星サーフ(渡辺敏夫会長)、3クラブ合同で創立15周年記念大会を淡路島で盛大に開催、これを機会に3兄弟クラブを誓い兵庫協会各クラブと楽しく「投げ釣り」を楽しんできました。

以来5年単位で記念行事を実施、2013年には神戸中央サーフと創立45周年記念大会を多くの仲間の参加を頂き山陰一帯で実施、次は半世紀50周年を目指してと・・・

それが今年2018年50周年記念の年が現実のものとなった。

「大物事務局」

1994年阪神サーフから大物事務局を引き継ぎ神戸中央サーフに引き渡すまで手書き台帳時代の1994～2007年13年間大物事務局を担当、多い時には500枚も毎月毎月生臭い？新鮮？な魚拓を広げて36クラブの台帳へ記録、とにかく頑張りました、経験を機会にパソコン化にも取り組んできました。

「震災祈念懇親会」

1995年あの忌まわしい阪神淡路大震災に遭遇した時、釣り以外一般事の助け合いなど希薄と思っていた釣りが真剣に助け合い支え合った仲間の行動に驚きました、これが「絆」、此の「絆」を大切にしたいと私は「震災祈念懇親会」を提案し三ツ星サーフC・Cとして15回まで御世話をさせていただきましたが2012年渡辺新協会長の下、協会行事として正式に引き継ぐことが出来ました。

「森林ボランティア」

2008年第1回森林ボランティア活動開催を実現開始

今は亡き第3代松永繁美協会長と豊かな海造りへの貢献について話をしてきたものです、私はなんとしても実現させたく思い「ひょうご森の倶楽部」福田会長（当クラブ会員）の協力を得て三ツ星サーフ主体で企画、兵庫協会の全面協力を得て「森は海の恋人」をキャッチフレーズで参加者を募集、豊かな山、豊かな川、豊かな海、そして豊かな魚と共に遊ぼう！と働きかけで第1回「森林ボランティア」活動を12クラブ、35名の参加者と共に2008年3月8日、第1回森林ボランティアを実施、2012年5回目より「協会行事」として正式に移管させていただきました、以降2018年11回も継続できました。今後も継続を希望するところです。

「兵庫協会長の輩出」

2011年 第5代兵庫協会長に三ツ星サーフC・Cより渡辺敏夫氏を輩出し、兵庫協会の発展に三ツ星サーフC・Cとして微力ながら貢献し、兵庫協会50周年の良き年を共に迎えられたことを感謝すると共に次世代への発展に期待を寄せております。

3.クラブの特徴

自称「宴会クラブ」と過去には自負していましたが今は「安全第一」が最優先、危険個所への一人釣行は禁止しています、体力に合わせ自分サイズの釣りを楽しむ。

創設以来企業内クラブとして一般からの会員は受けていませんでしたが

2008年頃より一般会員も受け入れをすることになりました。
誰でも入会お待ちしております、一緒に釣りを楽しみましょうネ。
平均年齢60+α歳の14名のメンバーですがまだまだ現役で釣りを楽しんでいます。

クラブのキャッチフレーズは

「魚を釣るより人を釣れ」・・・いろいろな釣り場でばったり出会った方、地元の方々には会釈で挨拶をしてまたの出会いを楽しみに、一匹の大物に勝る釣りを通し出会った数々の人々との「絆」を大切に輪を広げて皆仲良く楽しい釣りを楽しみましょう。

「お父さん 釣果はいいの楽しんで 無事が土産の幸せ家族」・・・自分と家族の事を考え「安全第一」「健康第一」で趣味を存分に楽しみましょう。

創立以来50年間を振り返ってクラブ員夫々の思い出を楽しみそして今日からまた未来が始まる。